

新型コロナウイルスの感染症対策について



世界中で新型コロナウイルスによる被害が拡大しています。ウイルス性の風邪の一種ですが
 ① 発熱やのどの痛み ② 咳が長引くこと(1週間前後) ③ 強いだるさ(倦怠感)を訴える
 などが特徴です。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているため十分に注意してください。



感染の注意点について



◎新型コロナウイルスは飛沫(ひまつ)感染と接触感染によりうつるといわれています。



飛沫感染

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。



注意

日常生活でできること

- ① 外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などでこまめな手洗いうがいをしましょう。
- ② 咳やくしゃみを直接手で押さえるのではなく、マスクやティッシュ、洋服の袖などで口を押さえるようにしましょう。(咳エチケット)
- ③ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患など持病がある方や高齢の方は、人込みを避けるなどしてより一層注意しましょう。



もしも症状がでてしまったら…

◎発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。

◎発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。



※以下のいずれかに該当する方は、[帰国者・接触者相談センター](#)にご相談ください。

●風邪の症状や 37.5℃以上の熱が 4 日以上続く方

(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様)

●強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

※お近くの帰国者・接触者相談センターの問い合わせ先については、
厚生労働省のホームページをご確認ください。



※なお、以下のような方は重症化しやすいため、この状態が 2 日程度続く場合には帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

●高齢者の方

●糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方

●免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

(妊婦の方へ)

妊婦の方については、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者センターにご相談ください。

(お子様がいる方へ)

小児については現時点で重症化しやすいとの報告はありませんので、目安どおりに対応ください。

作成：関東信越税理士国民健康保険組合

さいたま市大宮区桜木町 4-376-1

TEL:048-631-2211 FAX:048-644-3030



こちらのQRコードをスマートフォンで読み込むと組合HPへアクセスできます。

参考：厚生労働省